

2023年12月1日
令和5年度県立高等学校教育課程課題研究（産業教育（商業））

科目「簿記」における
「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導方法と評価

グループワークを取り入れた 協働的学習による深い学びの実現に向けて

愛知県立豊橋商業高等学校

「簿記」の主体的に学習に取り組む態度の目標

企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適切な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

（文部科学省、『高等学校学習指導要領』、P322）

「簿記」の現状と仮説

これまでの「簿記」

- 問題を多く解くことで知識を身に付けることが多い
- 一人で学習を進めることが多い
- つまづきができると考えこんで先に進むことができない

仮説

グループ学習の時間で協働的に学ぶことで、積極的に授業に取り組むことができるのではないかと

単元概要（目標）

何ができるようになるのか	
決算整理など決算に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適切な決算整理と財務諸表の作成について、組織の一員としての役割を果たすことができるようになる。	
何を学ぶのか	どのように学ぶのか
財務諸表を作成するための精算表を作成する方法について学ぶ。	精算表の作成手順を個人学習で理解し、作成の留意点について グループで話し合う活動 を通じて、主体的かつ協働的に学ぶ。

単元の評価規準

【C】主体的に学習に取り組む態度

精算表について自ら学び、
適正な決算整理と精算表の作
成に主体的かつ協働的に取り
組もうとしている。

単元の評価規準

【C】主体的に学習に取り組む態度

精算表について**自ら学び**、
適正な決算整理と精算表の作
成に**主体的**かつ協働的に取り
組もうとしている。

← 個別学習

単元の評価規準

【C】主体的に学習に取り組む態度

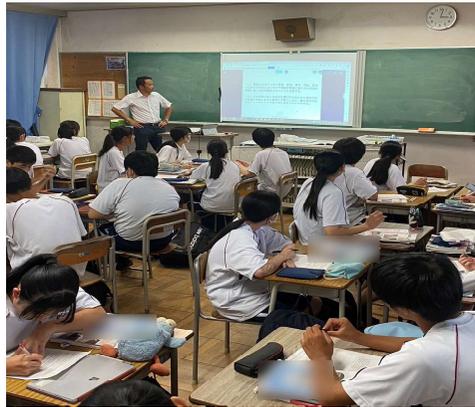
精算表について自ら学び、
適正な決算整理と精算表の作
成に主体的かつ協働的に取り
組もうとしている。

← グループ学習

学習指導案（ポイント）

展 開		<ul style="list-style-type: none"> 他者の発表を聞き、自分の考えと違うことは適宜メモを取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語や箇条書きにならないように注意させる。 グループは4人1組とする。 個人の発表時間は最大2分までとし、タイマーをスクリーンに投影する。 自分の考えとは違う考えで正しいと思っことは、青または黒のボールペンでメモを記入させる。
	20	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習の報告 グループの考えをまとめ、ロイロノートに提出し、順次発表をする。 他グループの発表を聞き、自分のグループとの意見を比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で出した意見をまとめ、ロイロノートに提出させる。 提出するのはグループの中の一人であるが、他人任せにせず、提出する内容を確認させるなど一人一人が責任をもって課題に取り組ませる。 提出された回答をプロジェクトで表示し、考え方は一つではないことを理解させる。 自分のグループと違う考えで正しい

実践



実践

問 次の文を読み、(1)～(2)の問いに答えなさい。

8桁精算表を作成する目的は、損益計算書、貸借対照表等、(①)を作成するための確認及び(②)をするためである。また、決算整理後による利益の(③)が可能である。さらに、8桁精算表に加え(ア)記入欄があることにより、決算手続きが(イ)できるのが利点である。

しかし、損益計算書、貸借対照表欄に記入する際、(④)が起きやすい。また、**5要素が判断できないと、誤った欄に記入されることがある**。これらにより、(⑤)が損益計算書、貸借対照表欄で一致しないことがある。

語群：

財務諸表	主要簿	完	成	当期純損益	試算表
不正	準備	損益	勘定	試算	誤記入

(1) 文章中の(①)～(⑤)に当てはまる適切な語を語群から選びなさい。また、(ア)と(イ)について当てはまる語句を入れなさい。

(2) **下線部**のような誤りが起こらないようにするために、作成者はどのような点に注意すべきか述べなさい。

ワークシート（一部抜粋）

問

あなたの勤務している会社が決算となり、損益計算書・貸借対照表を作成することとなった。

あなたは、経理事務担当として損益計算書・貸借対照表の作成にあたり、確認のために8桁精算表の作成を依頼された。そこで、あなたは8桁精算表を作成する上で(1)どのような点に留意すべきか記入しなさい。また、(2)その留意点を改善するためにはどのようにするか記入しなさい。

※以前実施したワークシート①を思い出しながら、考察すること。

※決算仕訳はすべて合っていると仮定するため、(決算の仕訳をしっかりと行う等)の解答は×とします。

(1)	
(2)	

ワークシート（評価基準、生徒用）

評価	A	B	C
状況	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
主体的に学習に取り組む態度	8桁精算表の作成についての留意点に気づき、8桁精算表を適切に作成するために粘り強く取り組もうとしているとともに、留意点等を具体的に指摘し、実務での8桁精算表の作成について改善するための手だてを考察しようとしている。	8桁精算表の作成についての留意点に気づき、8桁精算表を適切に作成するために粘り強く取り組もうとしている。	8桁精算表の作成についての留意点の把握が不十分であり、適切に作成するために粘り強く取り組む態度が見られない。

実践

• 授業の流れ

前時の復習

個別学習

ワークシートの問いを個人で解答します (5分)

グループ学習

個人の考えをグループに伝えます (1人2分)

発表

グループの考えをロイロノートにまとめ全体で発表します

実践

(1)	<p>残高試算表(注)に記入忘れがないかの確認。当期純利益の 差額があるかの確認。 発生時に書込。 修正がりの手順やどの科目か 負債を覚えてる。 電卓のミスが少ない。 その他に書く勘定科目を間違えないようにする。</p>
(2)	<p>上から一つずつ順番にやっていて、記入ミスがないようにする。 電卓を落着いてうち、うちミスがないようにする。 一番上からゆ、くり書こ。 ゆ、くり算にやる。 シャーペンでやる。 見直しをする。 記入も注意してかき 写れる。 記入前にあってるかの確認する。 書きついでに検入したものには必ず 2-7をいれる。 『、』の0の数があってるかの確認する。</p>

実践

(1)	<p>残高のミスをしたか他に気づける ようにする。 記入漏れ、けたしを忘れる 電卓の押し間違い</p>
(2)	<p>ちゃんと仕訳を書いたら貸借対照表のバランスが合うようにする</p>

生徒の感想



- Microsoft TeamsのReflectを使い今回の授業の自らの取り組みについての自己評価を集めた
- 5段階の感情のマークを選び送信する

生徒の感想

Q 今日の授業に主体的に取り組むことができましたか



できた・・・17人

ややできた・・・20人

ふつう・・・2人

ややできなかった・・・1人

できなかった・・・0人

参観者の反応

Q1 対話的な学び（協働して解決する）
となっていましたか

そう思う・・・3人
ややそう思う・・・1人
ややそう思わない・・・0人
そう思わない・・・0人

Q2 深い学び（知識・技術を活用する）
となっていましたか

そう思う・・・1人
ややそう思う・・・1人
ややそう思わない・・・2人
そう思わない・・・0人

- 積極的に生徒は授業に参加していた
- 仕方ない面もあるが、自主的にやる生徒とそうでない生徒（受け身）に大きく分かれる。発表準備は特に顕著である。

まとめ

- グループ活動にすることで生徒は進んで授業に参加できた
- 他者と意見を共有することでより深い学びまでつなげていくことができる
- 授業のつながりを意識してワークシートを活用することで、より知識の定着ができる